CBC 株式会社グループ

CBC グローバルホットライン・プライバシーノーティス

CBC 株式会社（以下、「CBC」といいます。）は、CBC のグループ会社（以下、「CBC グループ」といいます。）の役職員による違法若しくは不適切な行為またはその恐れのある行為（以下、併せて「不正行為」といいます。）を CBC の日本本社の通報窓口へ通報する CBC グローバルホットライン（以下、「ホットライン」といいます。）を設置しています。これにより、不正行為を未然に防止し、または早期発見および是正を図り、CBC グループのコンプライアンスを強化しています。

ホットラインの運用（特に不正行為の調査）において、個人データを取り扱うことは必要不可欠です。CBC では、ホットラインを利用する従業者（CBC の指揮監督を受けて当社の業務に従事している者（雇用関係にある従業員（正社員、契約社員、嘱託社員、パート社員、アルバイト社員等）のみならず、取締役、監査役、執行役員、派遣社員等も含まれる。））およびそれらの退職者の皆様に、個人データの取り扱いを信頼していただけるように、個人データの保護措置を講じています。CBC グローバルホットライン・プライバシーノーティス（以下、「プライバシーノーティス」といいます。）では、ホットラインを通じて CBC が収集する個人データの類型、利用目的、保護措置等についてご説明いたします。

1. 個人データの類型

通報に関連して処理される個人データの類型は次のとおりです。

- 通報者、被通報者その他の関係者の氏名、役職、所属先、CBC グループとの関係、携帯電話番号、E メールアドレスなどのデータから構成される連絡先情報
- 上記の者の性別、年齢、経歴などのデータから構成される身元情報
- 通報内容の詳細、調査結果、通報への対応措置

通報する際は、次の情報を含めないようにして下さい。

- センシティブデータ：人種または民族的出自、政治的見解、宗教的または哲学的信条、労働組合への加入、遺伝子データ、個人識別のための生体認証データ、健康データ、犯罪歴、障害に関する情報、性生活または性的指向に関するデータ

- 国家機密情報：適用される法律に基づき、政府が公表しない軍事情報、外交情報などの国家機密情報（個人データを含むか否かを問いません。）

通報にあたってセンシティブデータや国家機密情報を開示した場合、CBC は、当該情報の削除または情報処理の制限、および現地法を遵守するために適切と判断されるその他の措置を講じます。
なお、通報内容にセンシティブデータまたは国家機密情報を含めなければ、正確に通報内容を伝達できない場合、第一報でその旨をご相談ください。当該情報を収集する正当な必要性を協議の上、適切な対応を検討いたします。

2. 個人データの収集方法

個人データは、調査担当役職員、外部専門家その他の通報の調査に関与する権限を与えられたものによって、次の情報源を通じて収集されます。

- 通報内容
- 通報者
- 被通報者
- 通報に記載されている個人または調査中に特定された個人
- 会社のシステム・記録
- 公的機関
- その他の公開情報

通報に含まれる個人データは、株式会社ディー・クエストが提供する安全性が確保されたオンラインプラットフォームである DQ ヘルプラインを通じて収集されます。
DQ ヘルプラインは、CBC の指示に基づいてのみ個人データを処理する機密システムであり、プライバシーノーティス記載以外の目的には使用しません。

3. 個人データの利用目的

個人データは、次の目的で利用されます。

- 通報された不正行為の特定、調査、およびその他の対応
- 是正措置の実施
- CBC のグループ全体のコンプライアンス体制の強化

4. 個人データ処理の法的根拠

以下の法的根拠に基づいて、個人データを処理します。

- 正当な利益（例：詐欺・財務の不正など不正行為の調査・防止、CBC グループの評判および信頼性の保護、社内規程の遵守、ホットラインの運営）
- 雇用契約の履行（例：契約違反の申立があった場合）
- 法的義務の遵守（例：裁判所の命令による対応）
- 個人の重要な利益の保護（例：将来的な不正行為によって従業員が深刻な危害を受ける可能性がある場合）
- 同意

5. 機密保持および匿名性

収集された個人データは、常に機密情報として扱われます。厳格な守秘義務が課されたホットラインの担当スタッフおよび調査チームに対してのみ個人データへのアクセス権が与えられます。

通報者が匿名通報を望む場合、その意向は尊重されます。ただし、匿名通報の場合、CBC が通報事項の十分な調査を行うこと、通報者へ進捗状況の報告を行うこと、および当該問題に対する通報者の見解を理解することができない可能性があることにご留意ください。また、匿名通報の場合であっても、CBC は、裁判所による証拠提出命令など、現地の法律に基づいて通報者の情報の開示が義務付けられる場合があります。また、通報者が悪意を持って通報を行った場合、被通報者から名誉毀損等で訴えられる可能性があり、その場合には、通報者の身元が開示される可能性があります。

なお、匿名通報であっても、その通報内容、調査の過程において身元が特定されるリスクが存在することにご注意ください。

6. 被通報者への情報提供

CBC は、被通報者またはその他の関係者に対して、被通報者またはその他の関係者の個人データが利用されることを通知する場合があります。しかし、CBC は、調査に支障が生じる場合には、被通報者またはその他の関係者への通知を遅らせる、または通

知しない権利を留保します。

なお、被通報者またはその他の関係者へ通知する前に、通報者に対して可能な限り事前に通知します。ただし、通報者が氏名や連絡先を提供しない場合など、通報者への事前通知ができない正当な理由がある場合はこの限りではありません。通報者の身元の秘匿性は最大限配慮されます。

7. 調査プロセスおよび個人データの共有範囲

通報内容を審査した結果、調査の必要があると判断された場合、調査チームが事実関係の調査を行います。調査チームは、CBC グループの適切な部署に協力を求めることができます。また、調査チームは、弁護士などの外部専門家に調査を委託することができます。この場合、外部専門家はデータ保護および機密保持条項を含む厳格な契約上の義務が課されるものとします。

なお、特定の状況において、CBC は、規制当局、裁判所等の公的機関から、個人データを開示するよう法律で要求されることがあります。

8. 個人データの域外移転

ホットラインへの通報を審査および調査するために、通報に含まれる個人データは、CBC が所在する日本に転送されます。また、必要に応じて、通報内容に関係する拠点へ転送される場合があります。

個人データの域外移転が行われる場合、適用される現地の個人情報保護法に準拠して、第 11 条記載の措置を含む安全措置が取られています。安全措置の詳細については、第 12 条に記載されている連絡先へお問い合わせください。

9. データ保有期間

個人データは、その収集された目的または使用するために必要な期間に限り保有されます。ただし、現地の法律の要請または訴訟対応のために、個人データを一般的な期間よりも長く保有する場合があります。

10. データ主体の権利

データ主体（個人データの所有者）は、適用される法律のもとで、個人データへのアクセス権、訂正権、削除権、または個人データの処理に異議を唱える権利など、個人データに関する権利を有する場合があります。

ただし、開示によって他のデータ主体の権利が侵害される場合には、開示が認められない場合があります。CBC は、データ主体の要請に応じるよう努めますが、対応できない場合はその理由を説明します。

11. 安全措置

CBC は、個人データ保護のため、徹底したセキュリティ対策を実施しています。アクセス制御、暗号化、物理的に個人データの保管場所を限定するとともに、個人データを扱う担当者に対して定期的に個人データに関する教育を実施しています。

12. 問い合わせ先

プライバシーノーティスまたは個人データの取り扱いに関するご質問は、以下までお問い合わせください。

johokanri@cbc.co.jp

プライバシーノーティスの最終更新日は 【2026 年●月●日】です。